

令和 2 年度厚生労働科学研究費補助金（障害者政策総合研究事業）
分担 研究報告書

自立訓練のプログラム及び支援内容に関する試験調査研究

研究分担者	鈴木 智敦	名古屋市総合リハビリテーションセンター 副センター長
	渡邊 崇子	横浜市総合リハビリテーションセンター 障害者支援施設施設長
研究協力者	田中 雅之	名古屋市総合リハビリテーションセンター 自立支援部長
	松尾 稔	名古屋市総合リハビリテーションセンター 生活支援課長

研究要旨

自立訓練では、自立や地域生活、社会参加に向けたプログラムや支援（以下 プログラム等とする）が提供されているが、その内容については障害種別によって多様性があることが先行研究からわかっている。ただ、地域によって差が出ないように質の担保をすることや効果的・効率的に目標達成するためには、ある程度標準化されたプログラム等が提供される必要があるが、それは明らかになっていない。令和 2 年度は、標準的なプログラムについて検討するための試験調査として、特定の事業所を対象に、プログラム等の実施状況や主観的な効果に対する調査を実施した。この調査結果をもとに、設問や分析方法の修正を行ったうえで、令和 3 年度に本調査を行い、最終的には、標準的プログラム等を障害種別ごとに類型化することを目指す。

A. 研究目的

自立訓練においては、障害者の自立や地域生活移行、社会参加を支援するための役割を意識したプログラム等を提供している。サービス対象となる障害は多岐にわたり、かつゴールとなる「自立」、「社会参加」の在り方も利用者個々のニーズに応じて幅広いため、同じ自立訓練であっても、提供しているプログラム等の内容は多岐にわたっていることが、「自立訓練（機能訓練、生活訓練）の実態把握に関する調査研究」（厚生労働省平成 30 年度障害者総合福祉推進事業）（以下 H30 推進事業）で示された。また、同研究では、基準該当や共生型の事業所との提供しているプログラム等の違いも明らかになった。

提供しているプログラム等はニーズやゴールに

応じて個別性が高くならざるを得ない場合もあるが、各地域で提供される事業の質の担保のため、また利用者の目標達成を効果的・効率的に実現するためには、各事業において最低限提供すべき標準的なプログラム等は必要である。現状ではそれが明らかになっていない。H30 推進事業では、機能訓練と生活訓練に分けて分析を行ったが、障害別のプログラム等は明らかになっていない。

そこで、令和 2 年度の研究においては、一部の自立訓練事業所で実際に提供されたプログラム等を試験的に調査し、障害種別ごとの提供されているプログラム等の傾向を分析し、次年度実施予定のプログラム等に関する大規模調査の調査票を完成させるために必要な情報収集を行うことを目的とする。

B. 研究方法

1. 対象

研究分担者・研究協力者の事業所及び利用者(16事業所・34事例)。事例は目標達成した事例を選択してもらった。

2. 調査内容

調査票(資料2)に従い、自立訓練事業所の利用者に対し、実際に提供したプログラム等、実施形式、実施頻度、各プログラム等における評価指標の有無、職員・利用者が目標達成に対して、そのプログラム等に効果を実感できたかを回答してもらった(利用者が効果を実感できたか以外は職員が回答)

3. 方法

調査票(資料2)のデータを調査協力事業所にメールで送信し、事業所の職員・利用者に回答を入力したデータを返信してもらい、集まったデータを統計処理し、障害種別ごとに分析を行った。

4. 障害種別の分類

主たる障害を基準に分類した。肢体不自由については、さらに疾患別で頸髄・脊髄損傷・疾患とその他で分類した。障害者手帳等を重複して所持していた3事例については、それぞれに該当する障害の分析に加えた。

5. プログラム等の分類

プログラム等は、H30推進事業の分類を元に、研究分担者等で意見交換を行い、最終的に1)機能維持・向上訓練(9項目)、2)ADL訓練(14項目)、3)IADL訓練(11項目)、4)社会生活力訓練(25項目)、5)一般就労に向けた職業訓練(6項目)、6)その他の訓練(10項目)、7)地域移行・社会参加に向けた訓練(18項目)、8)家族支援(3項目)、9)地域貢献活動(5項目)の9分類に整理した。

6. 調査期間

令和3年2月1日～2月28日

7. 倫理面への配慮

調査対象となる利用者は評価指標調査と同一のため、今回送受信したデータには個人情報含まれていない。

C. 研究結果

1. 利用者の属性

(1) 利用サービス

利用していたサービス別では、機能訓練が21(61.8%)、生活訓練が12(35.3%)、宿泊型自立訓練が1(3.0%)であった。

(2) 性別

性別は男性が24名(70.6%)、女性が10名(29.4%)であった。

(3) 年代

年代では、10代が3名(8.9%)、20代が4名(11.8%)、30代が4名(11.8%)、40代が12名(35.3%)、50代が11名(32.4%)であった。

(4) 主たる障害

肢体不自由が15名(44.1%)、高次脳機能障害が7名(20.6%)、視覚障害が4名(11.8%)、聴覚・言語機能障害・精神障害・知的障害・発達障害が各2名であった。また、重複障害のある者が14名(41.2%)であった。

(5) 疾患・精神分類

疾患別では、脳血管障害が11名、脊髄損傷・疾患の方が6名いた。

また、精神分類では、うつ病、統合失調症が各1名であった。

(6) 手帳等

所持している手帳では、身体障害者手帳が19名(55.9%)、精神保健福祉手帳が12名(35.3%)、療育手帳が3名(8.8%)であった。

(7) 主たる利用者の意向

利用開始時の主たる利用者(家族)の意向では、

就労・就学への支援が 15 名(44.1%)、家庭復帰・地域生活への移行が 6 名(17.6%)、ADL・IADL の向上が 3 名(8.8%)、単身生活が 2 名(5.9%)、認知機能の維持・向上が 2 名(5.9%)、生活スタイルの構築・再構築が 2 名(5.9%)、その他が 4 名であった。

2. プログラム・支援内容

障害種別ごとの各プログラム等の実施割合（各プログラム実施者数/全回答数）（以下「実施率」とする）と効果実感率（職員・利用者が効果ありと感じた回答数/各プログラム等実施者数）（それぞれ「職員効果実感率」「利用者効果実感率」とする）は表 1 の通りであった。

(1) 実施率

1) 機能維持・向上訓練(9 項目)

高次脳機能障害が最も多くなっていた。内容としては、実施率が高い順に、高次脳機能・認知訓練、代替手段の活用、身体機能の維持・向上訓練、記憶・情緒の安定であった。

視覚障害、精神障害、発達障害では実施されている項目はなかった。

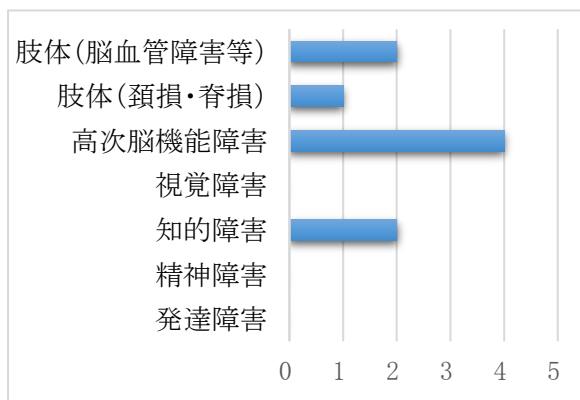


図 1:機能維持・向上訓練における実施率が 50%を超えた項目数 (障害別)

2) ADL 訓練(14 項目)

肢体不自由(頸髄・脊髄損傷・疾患)が最も多くなっていた。内容としては、移乗、屋外移動、入浴が 100%、起居訓練、車いす操作、排泄が 83.3%となっていた。

次に項目数が多かった視覚障害では、白杖操作、屋内移動、屋外移動といった移動に関する訓練が実施率が高くなっていた。

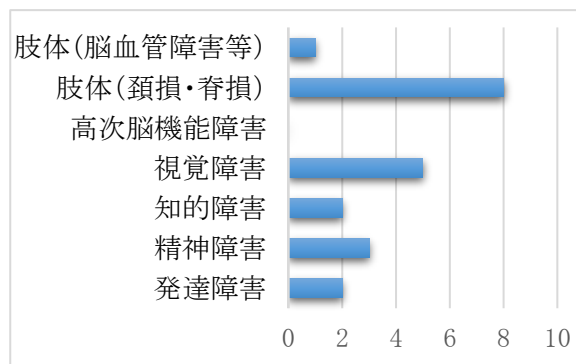


図 2:ADL 訓練における実施率が 50%を超えた項目数 (障害別)

3) IADL 訓練(11 項目)

知的障害が最も多くなっていた。電話の使用、買い物、調理、洗濯、掃除、服薬管理、金銭・財産取扱い、公共交通機関の利用など生活に密着した動作の訓練が実施率 100%となっていた。

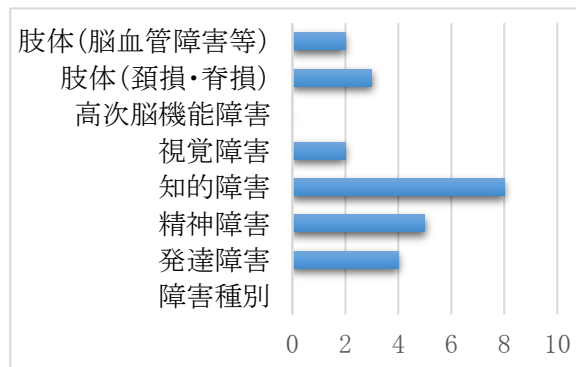


図 3:IADL 訓練における実施率が 50%を超えた項目数 (障害別)

4) 社会生活力訓練(25 項目)

知的障害が最も多く、次いで精神障害、高次脳機能障害、発達障害の順に多くなっていた。

知的障害では、すまい、恋愛・結婚・子育て、介護保険サービスを除くすべての項目で実施率が高くなっていた。

精神障害では知的障害と比べると項目ごとの実施率にばらつきがあるが、セルフケア、生活リズム

ム、自己理解、障害の理解、外出・余暇活動が実施率 100%となっていた。

高次脳機能障害では、疾病・健康管理、自己理解、障害の理解、コミュニケーション、就労生活、食生活・栄養管理、障害福祉制度・サービスが高くなっていた。

肢体不自由（頸髄・脊髄損傷・疾患）と視覚障害では全体的に実施率が低かった。

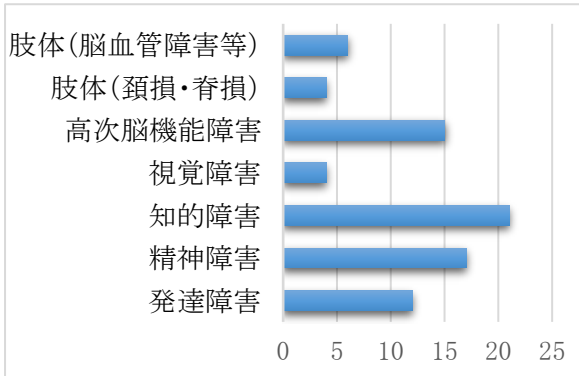


図 4: 社会生活力訓練における実施率が 50%を超えた項目数 (障害別)

5) 一般就労に向けた職業訓練(6項目)

プログラム等の内容では、下のような障害ごとの特徴がみられた。

職業前訓練は、肢体不自由（脳血管障害・脳外傷等）、高次脳機能障害、知的障害、発達障害で実施率 50%を超えていた。

職業訓練・復職訓練は、肢体不自由（脳血管障害・脳外傷等）が実施率 50%を超えていた。

就職活動支援では、知的障害が実施率 50%を超えていた。

職場実習支援では、高次脳機能障害、知的障害では、精神障害・知的障害が実施率 50%を超えていた。

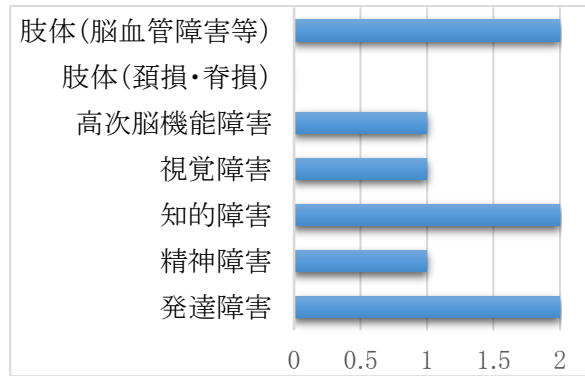


図 5: 一般就労に向けた職業訓練における実施率が 50%を超えた項目数 (障害別)

6) その他の訓練(10項目)

知的障害が家庭学習、その他を除くすべての項目の実施率が高くなっていた。

スポーツ活動はすべての障害で、PC などの ICT 訓練は精神障害・発達障害を除くすべての障害で、ソーシャルスキルトレーニングは肢体不自由・視覚障害を除くすべての障害で実施率が高くなっていた。

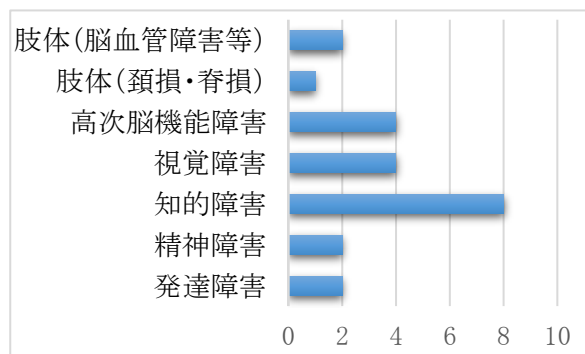


図 6: その他の訓練における実施率が 50%を超えた項目数 (障害別)

7) 地域移行・社会参加に向けた支援(18項目)

知的障害がすまい探し以外の項目で実施率が高くなっており、項目数が最も多くなっていた。

サービス担当者会議・関係機関との調整はすべての障害で実施率が高くなっていた。それ以外の障害別で実施率が高かった項目については以下のとおり。

肢体不自由では、住環境面の改善、医療機関・事

業所探し・選定支援が実施率が50%を超えていた。

高次脳機能障害では、事業所見学・同行、事業所利用体験実習支援が実施率が50%を超えていた。

精神障害では、医療機関・事業所探し・選定支援、事業所見学・同行、事業所利用体験実習支援、職場体験実習同行、契約行為等の手続き、地域生活の中でのレクリエーション・余暇活動支援が実施率が50%を超えていた。

発達障害では、職場見学同行、職場体験実習同行、契約行為等の手続き、地域生活の中でのレクリエーション・余暇活動支援が実施率が50%を超えていた。

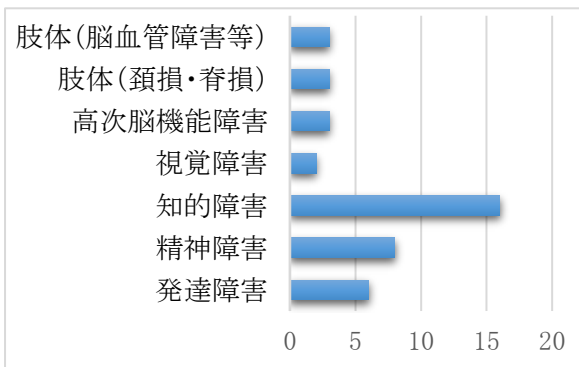


図7:地域移行・社会参加に向けた支援における実施率が50%を超えた項目数(障害別)

8) 家族支援(3項目)

障害理解促進については、高次脳機能障害が実施率が80%を超えていた。

相談対応は視覚障害を除くすべての障害で実施率が高くなっていた。

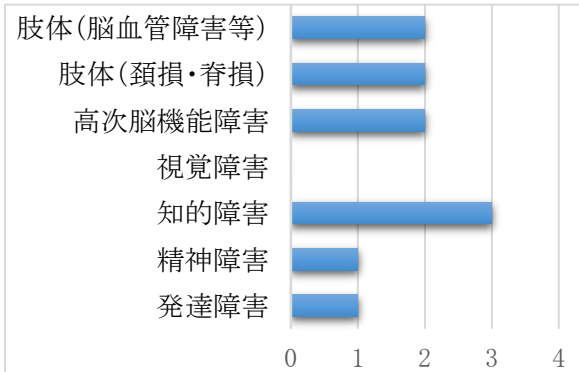


図8:家族支援における実施率が50%を超える項目数(障害別)

9) 地域貢献活動(5項目)

精神障害で、地域等に対するボランティア活動、他の障害者等に対するピアサポート活動、利用者が(と共に)行う地域交流活動、利用者が(と共に)行う地域づくり活動の実施率が6割を超えていた。

肢体不自由(頸髄脊髄損傷・疾病)、視覚障害では実施された項目がなかった。

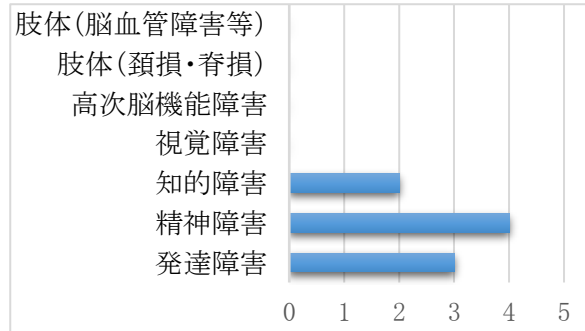


図9:地域貢献活動における実施率が50%を超える項目数(障害別)

(2) 実施率と職員効果実感率・利用者効果実感率

表1のデータをもとに、実施率と職員効果実感率、利用者効果実感率の関係を各プログラム等項目ごとにまとめたものが表2である。

◎は実施率が50%以上で、かつ職員効果実感率・利用者効果実感率がともに75%以上だった項目を、●は実施率は50%未満であったが、職員効果実感率・利用者効果実感率がともに75%以上だった項目を、△は実施率は50%以上であったが、職員効果実感率・利用者効果実感率のいずれかのみ75%以上を超えていたものである。

肢体不自由(脳血管障害・脳外傷等)では、機能維持・向上訓練、ADL訓練、社会生活力訓練、地域移行、社会参加に向けた支援で印のついた項目が過半数を超えていた。他の障害で印のついていない特徴的なプログラム等としては、利き手交換訓練、摂食・嚥下訓練、就職活動支援であった。

肢体不自由(頸髄脊髄損傷・疾病)では、ADL訓練、家族支援で印のついた項目が過半数を超え

ていた。他の障害で印のついていない特徴的なプログラム等としては、自動車利用・運転であった。

高次脳機能障害では、機能維持・向上訓練、社会生活力訓練で印のついた項目が過半数を超えていた。他の障害で印のついていない特徴的なプログラム等としては、記憶・情緒の安定、代替手段の活用であった。

視覚障害では、その他の訓練、地域移行に向けた支援で印のついた項目が過半数を超えていた。他の障害で印のついていない特徴的なプログラム等としては、白杖操作、ADL 訓練、介護保険制度・サービス、その他（ADL 訓練、IADL 訓練、一般就労に向けた職業訓練、その他の訓練）であった。

知的障害では、IADL 訓練、社会生活力訓練、その他の訓練、地域移行・社会参加に向けた支援で印のついた項目が過半数を超えていた。◎（実施率が 50%以上で、かつ職員効果実感率・利用者効果実感率がともに 75%以上）が最も多かった。他の障害で印のついていない特徴的なプログラム等としては、園芸療法、アニマルセラピー、その他の同行支援であった。

精神障害では、IADL 訓練、社会生活力訓練、一般就労に向けた職業訓練、地域移行・社会参加に向けた支援、家族支援、地域貢献活動で印のついた項目が過半数を超えていた。他の障害で印のついていない特徴的なプログラム等としては、その他（社会生活力訓練）、家庭学習、消費者トラブルなど危機回避、地域等に対するボランティア活動、利用者が（と共に）行う地域づくり活動であった。

発達障害では、地域貢献活動で印のついた項目が過半数を超えていた。印のついた項目は少ないが、◎（実施率が 50%以上で、かつ職員効果実感率・利用者効果実感率がともに 75%以上）の割合は最も高くなっていた。

(3) 訓練・支援形式について

表 2 で印のついたプログラム等の項目について、各障害別に最も多かった訓練・支援の形式について一覧にしたものが表 3 である。同数だった場合

は、文末に「他」を入れ、頻度の高い方を掲載している。なお、訓練・支援の形式は以下の分類で行った。

方法：個別/集団/訪問

頻度：週 1 回以上/月 1 回以上/年 1 回以上

1 回あたりの時間数：1 時間以内、1～3 時間、3 時間以上（表中は時間は h で表示）

方法では、どの障害においても、個別の割合が最も高く、訪問が最も低くなっていた。

社会生活力訓練、その他の訓練、地域貢献活動は、集団で行われている割合が高かった。

数は少ないが、訪問で実施されたプログラム等として、肢体不自由（脳血管障害・脳外傷等）では、身体機能の維持・向上、入浴、すまい、就労生活、職業前訓練、サービス担当者会議・関係機関との調整、住環境面の改善、すまい探しが、肢体不自由（頸髄脊髄損傷・疾病）では、すまい、住環境面の改善が、精神障害ではセルフケア、就労生活、支援の活用、職場実習支援、事業所利用体験実習支援、相談対応があげられていた。

(4) 評価指標の有無について

障害別、プログラム等の項目別に評価指標があると回答した数を一覧にしたものが表 4 である。

全体として、評価指標があると答えた割合は低かった。身体機能の維持・向上、高次脳機能認知訓練、記憶・情緒の安定、屋内移動、屋外移動、車いす操作、入浴、白杖操作、調理、公共交通機関の利用でありと回答した数が 3 を超えていた。

(5) 評価実施者の意見

調査票の今回の調査に関する自由回答で、下のような意見をいただいた。以下 () 内はその事業所の対象となる障害をさす。

1) 設問数について

- ・回答項目が多く、内容が重複している内容もみうけられたため、職員、利用者ともにやや回答には時間がかかった（肢体不自由）。
- ・質問項目が多く、やや利用者に負担が大きいように感じた（肢体不自由）

- ・項目数は多いものの、実施している内容をもれなく調査するためには、必要な項目数であると感じた（肢体不自由）。
- ・対象者の二年間の支援を、本人と共に振り返ることができたのは良かった。初期の支援は忘れていたことも多く、対象者の変化を再認識することができた（知的障害）。
- ・視覚に障害があるだけで、身体機能や認知機能には問題ないため、設問が多い割には選択できる項目はわずかだった（視覚障害）。

2) 設問内容について

- ・全項目において、どの訓練、支援がどの項目に当てはまるか、迷うこともあったが、体系化されているため、この記入に慣れていくことにより、少しずつ理解できると思われる（肢体不自由）。
- ・B型への支援について、「5、一般就労に向けた職業訓練について」の全項目及び78)~80)の「事業所」には含まず、それ以外に「就労」「職業」という言葉が出てくる項目では含めて回答した（肢体不自由、知的障害）。
- ・ADL、IADL 訓練における視覚障害者向けの具体的な小項目に「白杖操作」「点字」とあるが、障害別にするなどしてもう少し項目を増やしても良いのではと感じた。全体的に肢体不自由、高次脳寄りの感じが否めない（視覚障害）。
- ・「相談対応」について、主に利用者の関することか、家族自身のことか、分けて整理する必要があると思う。ケアラー支援の視点から捉えると、家族自身を尊重した支援が結果として環境改善につながるかと思う（精神）。
- ・当センターではスポーツについては活動ではなく、訓練として実施しています。また、復職 B を目標に職能訓練としてパソコン訓練を行っていますが、職業訓練かその他の訓練かも迷いました（肢体不自由）。
- ・言語・コミュニケーションの設問について、外来 ST（施設での支援でない）のをカウントすべ

きか？（肢体不自由）。

- ・毎日食事していることを訓練ととるのか？ 食事時、こぼしてしまうことが課題であったので、リーダー等が見守り、こぼさない方法をその都度提案したりしていたが、この頻度と個別か集団かを迷った（肢体不自由）。

3) 頻度について

- ・利用全期間を通してコンスタントに行っていない支援の頻度をどう判断するのかが分かりにくかった（知的障害・肢体不自由・精神障害・高次脳機能障害）。
- ・目標到達に対して、累積時間が示されないため反復による訓練の実態が反映されない印象あり（視覚障害）。
- ・主たる地域づくりの活動は集中的に短期で取り組むが、それにつながる準備等は通年を通して準備している場合の頻度は、年 1 回以上か、月 1 回以上か（精神障害）。
- ・訓練は段階的進んでいくため、毎週全ての訓練を実施しているわけではないため、週 1 回以上の回答が適切なのか迷った（肢体不自由）。

4) 効果について

- ・利用者は基本的に良くなりたいと思い訓練に取り組んでおり、必然的に「効果あり」が多くなるため、アンケートの意味を感じないとの利用者からの感想を受けた（肢体不自由）。
- ・主観として効果を問うことに関しては答えやすいと感じた（肢体不自由）。
- ・「効果あり」「効果なし」「わからない」との 3 段階の答え方では評価が微妙な場合、「効果ない」と感じる想いを含んでいるが、「効果あり」と評価せざるを得ない場合もあり答えづらく、例えば 5 段階の評価にする等した方が良いと思われた。
- ・利用者さんに項目の理解をしてもらうのが難しかったため、項目についてわかりやすい表現も追加してもらえるとよいと感じた（高次脳機能障害）。

5) 有効性について

- ・今回の調査を通じては利用者と職員間での効果の受け止めのギャップに関する確認することが出来たため、有意義に感じた（肢体不自由）。
- ・自立訓練で実施している訓練内容が項目化されており、利用者支援が目に見えて確認できるような様式であると感じた。今回の調査内容の中で確認していく内容が初期・中期・終期等で利用者に振り返ってもらうためのツールとして活用できるように感じた（肢体不自由）。

D. 考察

1. 調査結果について

各事業所が多岐に渡るプログラム等を提供していることは、H30 推進事業でも明らかになっているが、今回の試験調査においても、各事業所が、幅広い分野に渡って多くのプログラム等を提供していることが示された。加えて、プログラム等の提供側の職員だけでなく、プログラム等を通じ「自立した日常生活又は社会生活を営む」ことを目標としている利用者也、効果を実感できるプログラム等が実施されていることがわかった。

今回の試験調査の分析にあたっては、機能訓練（実施者 21 名）、生活訓練（実施者 12 名）の事業毎の分析も行ったが、高次脳機能障害がどちらの事業にも含まれていること、機能訓練においても、障害種別によって提供しているプログラム等に差がみられることから、障害別による分析を実施した。

利用期間中は、プログラム等による影響だけでなく、職員や他の利用者など他者との関わりから様々な影響を受けるので、各プログラム等ごとに、目標達成との関連性を客観的に示すことは難しいと思われる。ただ、表 2 で示したように、目標達成したケースについて、プログラム等の実施率と効果実感率を複合的に分析することで、効果があると思われるプログラム等を障害種別ごとに類型化できる可能性は示唆された。

また、今回の試験調査の協力機関が限られているため、基準該当や共生型の事業所を含む本調査では、障害別による調査が適当であると思われる。

2. 次年度に向けた調査票の作成

障害種別毎による分析を行った結果、障害特性によりプログラム等の傾向が異なった。また、評価実施者の意見を踏まえ、次年度の本調査にむけいくつか整理を行いたい。

(1) 自立訓練（機能訓練）と（生活訓練）、障害別による調査票の作成

障害別プログラム等・職員効果実感率・利用者効果実感率（表 1、表 2）より、障害によってプログラム等の実施率の差が大きいことがわかる。高次脳機能障害が機能訓練と生活訓練のどちらでも対応されていることから、事業別ではなく、障害種別ごとに分析を行うことが適切であると考えられる。

また、評価実施者からは、「調査項目が多い」、「利用者負担がある」などの意見が出ていたが、今回の調査件数で障害種別ごとにプログラム等の実施の有無が明らかになったとは言い難い。設問を削除する、あるいは特定の障害種別ではそのプログラム等が実施されていないなど、調査項目の整理をする裏付けをとるためには令和 3 年度の調査でも再度同一の調査票を用いることが適切と考える。ただし、知的障害・精神障害・発達障害について、「機能維持・向上訓練」は実施対象ではないので、設問から除くなど、一部回答しやすさを考慮する。

(2) 設問数・内容について

前述のとおり、事業別・障害別による調査票を用いないことで、基本の設問数は大きくは変わらないが、プログラム等の内容や対象を明確にすることで回答しやすくなる項目については、細分化やコメント機能などを活用する、試験調査で実施率の低い項目はその他から選択できるようにするなど回答しやすい工夫を検討する。

(3) 評価回答時期について

今回の試験調査では、初期・中期・終期のように、同じ利用者で利用開始からの時期に応じて複数回調査することは、評価実施者の負担を考慮し実施しなかった。しかし、「実施頻度が時期によって異なるので答えづらかった」という意見もあった。標準的プログラムを作成するにあたり、実施時期も考慮すべき事項であるため、「訓練導入期（初期）・経験拡大期（中期）・地域移行支援期（終期）・全期間」のいずれかに実施したかを設問に加えることを検討する。

(4) プログラム等の形式について

今回の調査では、全期間を通しての方法、頻度、時間数等を調査したため、「利用開始からの時期によって実施の有無や頻度が変化しているプログラム等に関しては回答がしにくい」との意見が回答者から出ていた。

全期間を通じて実施していない項目については、前述の実施期間を設けることで、その期間の頻度として記載いただくことで可能となると考える。

(5) 効果について

主観評価にはなるが、標準的プログラム等の作成において、非常に参考となる項目であり、基準となる項目として、職員だけでなく利用者からの評価を確認したい。利用者の協力を仰ぐ際は、負担軽減のため、実施状況に記載ある項目に絞り込みを行うなど調査票の工夫を検討する。

(6) 次年度の調査における課題

全国の自立訓練系事業所に協力を要請することで、今回の試験調査より障害別で示される項目や効果実感率が分散する可能性が高い。

事業所の基本情報として、事業種別や内容、規模、入所通所の別、対象となる利用者像、専門職配置などを入れ分析に加えることで、標準的プログラム等作成の参考とする。

3. 標準的プログラム等作成にむけた課題

今回の試験調査を通じ、事業別より障害分野別で標準的プログラム等を検討することが有効であると考えられる。

ただ、障害別であっても事業所規模や入所・通所などサービスの提供方法によってもプログラム等は異なる。標準的プログラム等について、基本プログラム (A) 標準プログラム (B) 付加価値のあるプログラム (C) などプログラムの構成を検討する必要がある。

今後、プログラム等の実施が報酬等に反映する場合は、(A)を満たしている場合は、加減算なし、(B)を満たすと加算 1、(C)も満たすと加算 2 など、プログラムの多様性や効果が体制に直接影響することを想定して標準的プログラム等の開発を検討したい。

また、標準的プログラム等を実施し得た成果について、現行の就労支援体制加算のように成果を評価できる仕組みについても提言していきたい。

表1 障害別プログラム等・職員効果実感率・利用者効果実感率一覧

プログラム等の分類		n=12			n=6		
		肢体不自由 (脳血管障害・頭部外傷等)			肢体不自由 (頸髄脊髄損傷・疾患)		
		実施率	職員効果実感率	利用者効果実感率	実施率	職員効果実感率	利用者効果実感率
機能維持・向上訓練	1) 身体機能の維持・向上訓練	91.7%	90.9%	90.9%	100.0%	100.0%	83.3%
	2) 利き手交換訓練	33.3%	75.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	3) 高次脳機能・認知訓練	83.3%	90.0%	70.0%	16.7%	100.0%	100.0%
	4) 言語訓練	25.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	5) 摂食・嚥下訓練	8.3%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	6) 感覚統合訓練	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	7) 記憶・情緒の安定	41.7%	80.0%	60.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	8) 代替手段の活用	25.0%	50.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	9) その他	21.4%	66.7%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%
ADL訓練	10) 起居訓練	14.3%	100.0%	100.0%	83.3%	100.0%	80.0%
	11) 転倒訓練	21.4%	100.0%	100.0%	16.7%	100.0%	100.0%
	12) 移乗	14.3%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	83.3%
	13) 屋内移動	42.9%	100.0%	100.0%	50.0%	100.0%	66.7%
	14) 屋外移動	57.1%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	83.3%
	15) 車いす操作	28.6%	75.0%	75.0%	83.3%	100.0%	80.0%
	16) 食事	14.3%	50.0%	100.0%	33.3%	100.0%	50.0%
	17) 更衣	14.3%	100.0%	100.0%	50.0%	100.0%	66.7%
	18) 排泄	7.1%	100.0%	100.0%	83.3%	100.0%	80.0%
	19) 入浴	42.9%	100.0%	83.3%	100.0%	100.0%	83.3%
	20) みだしなみ・整容	21.4%	66.7%	33.3%	16.7%	100.0%	0.0%
	21) 白杖操作	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	22) 点字	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
23) その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
IADL訓練	24) 電話の使用	14.3%	50.0%	50.0%	16.7%	0.0%	0.0%
	25) 買い物	42.9%	83.3%	83.3%	33.3%	100.0%	50.0%
	26) 調理	50.0%	71.4%	71.4%	33.3%	100.0%	100.0%
	27) 洗濯	21.4%	100.0%	100.0%	16.7%	100.0%	100.0%
	28) 掃除	42.9%	100.0%	83.3%	16.7%	0.0%	100.0%
	29) その他家事	14.3%	100.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	30) 服薬管理	35.7%	60.0%	40.0%	50.0%	100.0%	66.7%
	31) 金銭・財産取扱い	7.1%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	32) 公共交通機関の利用	57.1%	75.0%	62.5%	66.7%	75.0%	75.0%
	33) 自動車利用・運転	21.4%	66.7%	100.0%	66.7%	100.0%	50.0%
	34) その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

n=8

n=4

n=2

高次脳機能障害			視覚障害			知的障害		
実施率	職員効果実感率	利用者効果実感率	実施率	職員効果実感率	利用者効果実感率	実施率	職員効果実感率	利用者効果実感率
75.0%	83.3%	66.7%	25.0%	0.0%	100.0%	50.0%	0.0%	0.0%
0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
100.0%	100.0%	62.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
12.5%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
25.0%	50.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%
62.5%	100.0%	80.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
87.5%	100.0%	57.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
12.5%	100.0%	100.0%	50.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
25.0%	100.0%	100.0%	50.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
12.5%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
12.5%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	50.0%
12.5%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%
0.0%	0.0%	0.0%	75.0%	100.0%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%
0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	100.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	75.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	50.0%
25.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%
25.0%	100.0%	50.0%	75.0%	100.0%	66.7%	100.0%	100.0%	100.0%
12.5%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%
37.5%	100.0%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%
25.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	100.0%	0.0%
37.5%	66.7%	100.0%	25.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	50.0%
0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
37.5%	100.0%	66.7%	75.0%	100.0%	66.7%	100.0%	100.0%	100.0%
12.5%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%

プログラム等の分類		肢体不自由 (脳血管障害・頭部外傷等)			肢体不自由 (頸髄脊髄損傷・疾患)		
		実施率	職員効果実感率	利用者効果実感率	実施率	職員効果実感率	利用者効果実感率
社会生活力訓練	35) 疾病・健康管理	64.3%	88.9%	88.9%	66.7%	100.0%	75.0%
	36) 食生活・栄養管理	71.4%	60.0%	90.0%	16.7%	0.0%	0.0%
	37) セルフケア	35.7%	100.0%	80.0%	16.7%	100.0%	100.0%
	38) 生活リズム	42.9%	83.3%	83.3%	33.3%	50.0%	100.0%
	39) 安全・危機管理	35.7%	60.0%	40.0%	16.7%	0.0%	100.0%
	40) 金銭・財産管理	28.6%	100.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	41) すまい	28.6%	75.0%	100.0%	50.0%	100.0%	100.0%
	42) 掃除・整理	50.0%	100.0%	71.4%	33.3%	50.0%	100.0%
	43) 買い物	35.7%	100.0%	100.0%	16.7%	100.0%	100.0%
	44) 服装	7.1%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	45) 自己理解	35.7%	80.0%	80.0%	33.3%	100.0%	100.0%
	46) 障害の理解	64.3%	100.0%	88.9%	66.7%	100.0%	100.0%
	47) 人間関係	7.1%	0.0%	100.0%	16.7%	0.0%	100.0%
	48) コミュニケーション	42.9%	83.3%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	49) 教育と学習	7.1%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	50) 就労生活	35.7%	100.0%	80.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	51) 恋愛・結婚・子育て	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	52) 外出・余暇活動	35.7%	100.0%	60.0%	16.7%	100.0%	100.0%
	53) 地域生活・参加	21.4%	100.0%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%
	54) 社会保障制度活用支援	50.0%	100.0%	85.7%	16.7%	100.0%	0.0%
55) 障害福祉制度・サービス	78.6%	81.8%	72.7%	66.7%	75.0%	75.0%	
56) 介護保険制度・サービス	42.9%	66.7%	83.3%	0.0%	0.0%	0.0%	
57) 支援の活用	42.9%	83.3%	66.7%	16.7%	100.0%	100.0%	
58) 権利の行使と養護	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
59) その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
一般就労に向けた職業訓練	60) 職業前訓練	64.3%	100.0%	77.8%	16.7%	100.0%	100.0%
	61) 職業訓練・復職訓練	57.1%	100.0%	75.0%	33.3%	100.0%	50.0%
	62) 就職活動支援	7.1%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	63) 職場実習支援	7.1%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	64) 資格取得のための訓練	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	65) その他	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

高次脳機能障害			視覚障害			知的障害		
実施率	職員効果実感率	利用者効果実感率	実施率	職員効果実感率	利用者効果実感率	実施率	職員効果実感率	利用者効果実感率
75.0%	100.0%	50.0%	75.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
75.0%	100.0%	50.0%	50.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
62.5%	100.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	100.0%	0.0%
62.5%	80.0%	60.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	50.0%
50.0%	100.0%	25.0%	50.0%	100.0%	50.0%	100.0%	50.0%	0.0%
12.5%	100.0%	0.0%	25.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
12.5%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
62.5%	100.0%	40.0%	25.0%	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
25.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%
25.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%
87.5%	85.7%	57.1%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%
100.0%	87.5%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	50.0%	50.0%
50.0%	100.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	50.0%	100.0%
100.0%	87.5%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%
37.5%	66.7%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	50.0%	50.0%
75.0%	100.0%	33.3%	25.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
12.5%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
62.5%	100.0%	60.0%	25.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
25.0%	100.0%	100.0%	25.0%	100.0%	100.0%	100.0%	50.0%	50.0%
62.5%	100.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	100.0%	0.0%
75.0%	100.0%	33.3%	50.0%	100.0%	100.0%	50.0%	100.0%	100.0%
0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
37.5%	66.7%	66.7%	25.0%	100.0%	100.0%	100.0%	50.0%	50.0%
0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	100.0%	100.0%	100.0%	50.0%	50.0%
0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
75.0%	100.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	100.0%	100.0%
37.5%	100.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
12.5%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%
12.5%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
12.5%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%

プログラム等の分類		肢体不自由 (脳血管障害・頭部外傷等)			肢体不自由 (頸髄脊髄損傷・疾患)		
		実施率	職員効果実感率	利用者効果実感率	実施率	職員効果実感率	利用者効果実感率
その他の訓練	66)スポーツ活動	78.6%	81.8%	63.6%	83.3%	100.0%	80.0%
	67)PCなどのICT訓練	57.1%	87.5%	75.0%	33.3%	100.0%	100.0%
	68)一般教養・強化学習	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	69)ソーシャルスキルトレーニング	14.3%	100.0%	0.0%	16.7%	100.0%	100.0%
	70)音楽療法	21.4%	33.3%	33.3%	16.7%	0.0%	100.0%
	71)園芸療法	14.3%	100.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	72)アニマルセラピー	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	73)模擬生活訓練	28.6%	100.0%	100.0%	16.7%	100.0%	100.0%
	74)家庭学習	21.4%	66.7%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%
	75)その他	7.1%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
地域移行、社会参加に向けた支援	76)サービス担当者会議等	85.7%	100.0%	75.0%	83.3%	100.0%	80.0%
	77)住環境面の改善	50.0%	85.7%	100.0%	83.3%	100.0%	80.0%
	78)医療機関・事業所探し選定支援	50.0%	42.9%	71.4%	83.3%	80.0%	80.0%
	79)事業所見学・同行	35.7%	100.0%	80.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	80)事業所利用体験実習支援	14.3%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	81)求職活動支援	7.1%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	82)職場見学同行	21.4%	66.7%	100.0%	16.7%	100.0%	100.0%
	83)職場体験実習同行	7.1%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	84)職場との調整	28.6%	100.0%	75.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	85)職場との調整・生活支援	28.6%	75.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	86)その他の同行支援	7.1%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	87)住まい探し	14.3%	100.0%	100.0%	16.7%	100.0%	100.0%
	88)契約行為等の手続き	7.1%	100.0%	100.0%	16.7%	100.0%	100.0%
	89)消費者トラブルなど危機回避	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	90)職場・地域等周囲の理解促進	14.3%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
91)レクリエーション・余暇活動支援	14.3%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
92)各種制度の活用	28.6%	75.0%	100.0%	33.3%	50.0%	0.0%	
93)その他	14.3%	50.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
家族支援	94)障害理解促進	50.0%	57.1%	71.4%	66.7%	50.0%	100.0%
	95)相談対応	57.1%	62.5%	75.0%	83.3%	40.0%	80.0%
	96)その他	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	100.0%	100.0%
地域貢献活動	97)地域等に対するボランティア活動	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	98)ピアサポート活動	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	99)利用者が行う地域交流活動	7.1%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	100)利用者が行う地域づくり活動	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	101)その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

高次脳機能障害			視覚障害			知的障害		
実施率	職員効果実感率	利用者効果実感率	実施率	職員効果実感率	利用者効果実感率	実施率	職員効果実感率	利用者効果実感率
75.0%	100.0%	33.3%	50.0%	100.0%	50.0%	100.0%	50.0%	100.0%
75.0%	100.0%	33.3%	100.0%	100.0%	75.0%	100.0%	100.0%	100.0%
50.0%	50.0%	75.0%	50.0%	100.0%	100.0%	50.0%	100.0%	100.0%
75.0%	100.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	100.0%	100.0%
37.5%	0.0%	12.5%	25.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	50.0%
37.5%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	100.0%	0.0%
0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	50.0%
0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	100.0%	100.0%
0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
0.0%	0.0%	0.0%	75.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
100.0%	100.0%	50.0%	75.0%	33.3%	33.3%	100.0%	100.0%	50.0%
0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	100.0%	0.0%	50.0%	100.0%	100.0%
37.5%	100.0%	66.7%	25.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
75.0%	100.0%	66.7%	25.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
50.0%	100.0%	75.0%	25.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
12.5%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	100.0%	100.0%
12.5%	100.0%	100.0%	25.0%	100.0%	100.0%	50.0%	100.0%	100.0%
12.5%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	100.0%	100.0%
0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	100.0%	100.0%	50.0%	100.0%	100.0%
0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	100.0%	100.0%	50.0%	100.0%	100.0%
25.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%
0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%
0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	50.0%	50.0%
12.5%	100.0%	100.0%	25.0%	100.0%	100.0%	100.0%	50.0%	50.0%
25.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	50.0%	50.0%
12.5%	100.0%	0.0%	50.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%
0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
87.5%	57.1%	57.1%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%
87.5%	71.4%	42.9%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	50.0%	50.0%
0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	100.0%	100.0%	50.0%	0.0%	50.0%
12.5%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
12.5%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
12.5%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	50.0%	50.0%
12.5%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%
0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

プログラム等の分類		n=3			n=2		
		精神障害			発達障害		
		実施率	職員効果実感率	利用者効果実感率	実施率	職員効果実感率	利用者効果実感率
機能維持・向上訓練	1) 身体機能の維持・向上訓練	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	2) 利き手交換訓練	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	3) 高次脳機能・認知訓練	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	4) 言語訓練	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	5) 摂食・嚥下訓練	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	6) 感覚統合訓練	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	7) 記憶・情緒の安定	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	8) 代替手段の活用	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	9) その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
ADL訓練	10) 起居訓練	33.3%	100.0%	100.0%	50.0%	100.0%	100.0%
	11) 転倒訓練	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	12) 移乗	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	13) 屋内移動	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	14) 屋外移動	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	15) 車いす操作	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	16) 食事	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	17) 更衣	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	18) 排泄	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	19) 入浴	33.3%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	20) みだしなみ・整容	66.7%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	21) 白杖操作	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	22) 点字	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
23) その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
IADL訓練	24) 電話の使用	66.7%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	25) 買い物	66.7%	100.0%	100.0%	50.0%	100.0%	100.0%
	26) 調理	100.0%	100.0%	66.7%	100.0%	50.0%	50.0%
	27) 洗濯	33.3%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	28) 掃除	66.7%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	29) その他家事	33.3%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	30) 服薬管理	66.7%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	31) 金銭・財産取扱い	66.7%	100.0%	100.0%	50.0%	100.0%	100.0%
	32) 公共交通機関の利用	33.3%	100.0%	100.0%	50.0%	100.0%	100.0%
	33) 自動車利用・運転	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	34) その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

プログラム等の分類		精神障害			発達障害		
		実施率	職員効果実感率	利用者効果実感率	実施率	職員効果実感率	利用者効果実感率
社会生活力訓練	35) 疾病・健康管理	66.7%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	36) 食生活・栄養管理	33.3%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	37) セルフケア	100.0%	100.0%	100.0%	50.0%	100.0%	100.0%
	38) 生活リズム	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	39) 安全・危機管理	33.3%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	40) 金銭・財産管理	66.7%	100.0%	100.0%	50.0%	100.0%	100.0%
	41) すまい	66.7%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	42) 掃除・整理	66.7%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	43) 買い物	33.3%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	44) 服装	66.7%	100.0%	100.0%	50.0%	100.0%	100.0%
	45) 自己理解	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	46) 障害の理解	100.0%	100.0%	100.0%	50.0%	100.0%	100.0%
	47) 人間関係	66.7%	100.0%	100.0%	50.0%	100.0%	100.0%
	48) コミュニケーション	66.7%	100.0%	100.0%	50.0%	100.0%	100.0%
	49) 教育と学習	66.7%	100.0%	50.0%	100.0%	100.0%	50.0%
	50) 就労生活	33.3%	100.0%	100.0%	50.0%	0.0%	0.0%
	51) 恋愛・結婚・子育て	33.3%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	52) 外出・余暇活動	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	53) 地域生活・参加	66.7%	100.0%	50.0%	100.0%	100.0%	100.0%
54) 社会保障制度活用支援	33.3%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
55) 障害福祉制度・サービス	66.7%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
56) 介護保険制度・サービス	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
57) 支援の活用	66.7%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
58) 権利の行使と養護	66.7%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
59) その他	33.3%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
一般就労に向けた職業訓練	60) 職業前訓練	33.3%	100.0%	100.0%	50.0%	100.0%	100.0%
	61) 職業訓練・復職訓練	33.3%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	62) 就職活動支援	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	63) 職場実習支援	66.7%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	64) 資格取得のための訓練	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	65) その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

プログラム等の分類		精神障害			発達障害		
		実施率	職員効果実感率	利用者効果実感率	実施率	職員効果実感率	利用者効果実感率
その他の訓練	66) スポーツ活動	100.0%	66.7%	66.7%	100.0%	0.0%	0.0%
	67) PCなどのICT訓練	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	68) 一般教養・強化学習	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	69) ソーシャルスキルトレーニング	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	70) 音楽療法	33.3%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	71) 園芸療法	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	72) アニマルセラピー	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	73) 模擬生活訓練	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	74) 家庭学習	33.3%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	75) その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
地域移行、社会参加に向けた支援	76) サービス担当者会議等	100.0%	100.0%	100.0%	50.0%	100.0%	100.0%
	77) 住環境面の改善	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	78) 医療機関・事業所探し・選定支援	66.7%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	79) 事業所見学・同行	66.7%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	80) 事業所利用体験実習支援	66.7%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	81) 求職活動支援	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	82) 職場見学同行	33.3%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	83) 職場体験実習同行	66.7%	100.0%	100.0%	50.0%	100.0%	100.0%
	84) 職場との調整	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	85) 就労中の職場との調整・生活支援	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	86) その他の同行支援	66.7%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	87) 住まい探し	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	88) 契約行為等の手続き	66.7%	100.0%	100.0%	50.0%	100.0%	100.0%
	89) 消費者トラブルなど危機回避	33.3%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
90) 職場・地域等周囲の理解促進	33.3%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
91) レクリエーション・余暇活動支援	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
92) 各種制度の活用	33.3%	100.0%	100.0%	50.0%	100.0%	100.0%	
93) その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
家族支援	94) 障害理解促進	33.3%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	95) 相談対応	66.7%	100.0%	50.0%	50.0%	100.0%	100.0%
	96) その他	33.3%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
地域貢献活動	97) 地域等に対するボランティア活動	66.7%	100.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	98) ピアサポート活動	100.0%	100.0%	100.0%	50.0%	100.0%	100.0%
	99) 利用者が行う地域交流活動	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	100) 利用者が行う地域づくり活動	66.7%	100.0%	100.0%	50.0%	0.0%	0.0%
	101) その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

表2 障害別プログラム等・職員効果実感率・利用者効果実感率の関係

◎は実施率 50%以上かつ職員効果実感率・利用者効果実感率ともに 75%以上

●は実施率は 50%未満だが、職員効果実感率・利用者効果実感率はともに 75%以上

△は実施率 50%以上だが、職員効果実感率・利用者効果実感率はいずれかのみ 75%以上

※各分類のその他は省略している。

プログラム等の分類		肢体不自由(脳血管障害等)	肢体不自由(頸髄脊髄損傷等)	高次脳機能障害	視覚障害	知的障害	精神障害	発達障害
機能維持・向上訓練	1) 身体機能の維持・向上訓練	◎	◎	△				
	2) 利き手交換訓練	●						
	3) 高次脳機能・認知訓練	△	●	△				
	4) 言語訓練	●		●				
	5) 摂食・嚥下訓練	●						
	6) 感覚統合訓練							
	7) 記憶・情緒の安定			◎				
	8) 代替手段の活用			△				
	9) その他							
ADL訓練	10) 起居訓練	●	◎				●	◎
	11) 転倒訓練	●	●					
	12) 移乗	●	◎					
	13) 屋内移動	●	△	●	◎			
	14) 屋外移動	◎	◎	●	◎			
	15) 車いす操作	●	◎					
	16) 食事							
	17) 更衣	●	△					
	18) 排泄	●	◎	●				
	19) 入浴	●	◎	●		△	●	
	20) みだしなみ・整容			●		◎	◎	◎
	21) 白杖操作				△			
	22) 点字				△			

プログラム等の分類		肢体不自由(脳血管障害等)	肢体不自由(頸髄脊髄損傷等)	高次脳機能障害	視覚障害	知的障害	精神障害	発達障害
IADL 訓練	24) 電話の使用				●	△	◎	◎
	25) 買い物	●		●		◎	◎	◎
	26) 調理		●		△	◎	△	
	27) 洗濯	●		●		◎	●	
	28) 掃除	●				◎		
	29) その他家事			●		△	●	
	30) 服薬管理		△			△	◎	
	31) 金銭・財産取扱い					◎	◎	◎
	32) 公共交通機関の利用	△	◎		△	◎	●	◎
	33) 自動車利用・運転		◎					
社会生活力 訓練	35) 疾病・健康管理	◎	◎	△	◎	◎	◎	
	36) 食生活・栄養管理	△		△	◎	◎	●	
	37) セルフケア	●	●	△		△	◎	◎
	38) 生活リズム	●		△		△	◎	◎
	39) 安全・危機管理			△	△		●	
	40) 金銭・財産管理					◎	◎	◎
	41) すまい	●	◎				◎	
	42) 掃除・整理	△		△		◎		
	43) 買い物	●	●			◎	●	
	44) 服装	●				◎	◎	◎
	45) 自己理解	●	●	△		◎	◎	◎
	46) 障害の理解	◎	◎	△			◎	◎
	47) 人間関係			△		△	◎	◎
	48) コミュニケーション			△		◎	◎	◎
	49) 教育と学習	●					◎	△
	50) 就労生活	●		△	●	◎	●	
	51) 恋愛・結婚・子育て			●			●	
	52) 外出・余暇活動			△	●	◎	◎	◎
	53) 地域生活・参加			●	●		△	◎
	54) 社会保障制度活用支援	◎		△		△	●	
55) 障害福祉制度・サービス	△	◎	△	◎	◎	◎		
56) 介護保険制度・サービス				●				
57) 支援の活用		●		●		◎		
58) 権利の行使と養護				●		◎		

プログラム等の分類		肢体不自由(脳血管障害等)	肢体不自由(頸髄脊髄損傷等)	高次脳機能障害	視覚障害	知的障害	精神障害	発達障害
一般就労に向けた職業訓練	60) 職業前訓練	◎	●	△		◎	●	◎
	61) 職業訓練・復職訓練	◎					●	
	62) 就職活動支援	●						
	63) 職場実習支援						◎	◎
	64) 資格取得のための訓練							
その他の訓練	66) スポーツ活動	△	◎	△	△	△		
	67) PC などの ICT 訓練	◎	●	△	◎	◎		
	68) 一般教養・強化学習				◎	◎		
	69) ソーシャルスキルトレーニング		●	△		◎	◎	◎
	70) 音楽療法				●	△		
	71) 園芸療法					△		
	72) アニマルセラピー					△		
	73) 模擬生活訓練	●	●			◎		
	74) 家庭学習						●	

プログラム等の分類		肢体不自由(脳血管障害等)	肢体不自由(頸髄脊髄損傷等)	高次脳機能障害	視覚障害	知的障害	精神障害	発達障害
地域移行、社会参加に向けた支援	76) サービス担当者会議・関係機関との調整	◎	◎	△		△	◎	◎
	77) 住環境面の改善	◎	◎			◎		
	78) 医療機関・事業所探し・選定支援		◎		●	◎	◎	
	79) 事業所見学・同行	●		△	●	◎	◎	
	80) 事業所利用体験実習支援	●		◎	●	◎	◎	
	81) 求職活動支援	●				◎		
	82) 職場見学同行		●		●	◎	●	◎
	83) 職場体験実習同行					◎	◎	◎
	84) 職場との調整	●			●	◎		
	85) 就労中の職場との調整・生活支援	●			●	◎		
	86) その他の同行支援					◎		
	87) 住まい探し	●	●					
	88) 契約行為等の手続き	●	●			◎	◎	◎
	89) 消費者トラブルなど危機回避						●	
	90) 職場・地域等周囲の理解促進	●			●		●	
	91) 地域生活の中でのレクリエーション・余暇活動支援						◎	◎
92) 各種制度の活用	●			◎	△	●	◎	
家族支援	94) 障害理解促進		△				●	
	95) 相談対応	△	△				△	◎
地域貢献活動	97) 地域等に対するボランティア活動						△	
	98) 他の障害者等に対するピアサポート活動						◎	◎
	99) 利用者が(と共に)行う地域交流活動	●					◎	◎
	100) 利用者が(と共に)行う地域づくり活動						◎	

表3 障害別各プログラム等で最も回答数が多かったプログラム等の形式

※表2で印がつかなかったプログラム等の結果は塗りつぶして割愛している。

プログラム等の分類		肢体不自由 (脳血管障害等)	肢体不自由 (頸髄脊髄損傷等)	高次脳機能障害
機能維持・ 向上訓練	1) 身体機能の維持・ 向上訓練	個別 週1回以上 1h以内	個別 週1回以上 1h以内他	集団 週1回以上 1h以内
	2) 利き手交換訓練	個別 週1回以上 1h以内		
	3) 高次脳機能・認知 訓練	個別 週1回以上 1h以内他	集団 週1回以上 1h以内	集団 週1回以上 1h以内
	4) 言語訓練	個別 週1回以上 1h以内		個別 週1回以上 1h以内
	5) 摂食・嚥下訓練	個別 週1回以上 1h以内		
	7) 記憶・情緒の安定			個別 週1回以上 1h以内
	8) 代替手段の活用			集団 週1回以上 1h以内
ADL 訓練	10) 起居訓練	個別 週1回以上 1h以内他	個別 週1回以上 1h以内	
	11) 転倒訓練	個別 週1回以上 1h以内	集団 年1回以上 1h以内	
	12) 移乗	個別 週1回以上 1h以内他	集団 週1回以上 1h以内	
	13) 屋内移動	個別 週1回以上 1h以内	個別 週1回以上 1h以内	個別 週1回以上 1h以内 他
	14) 屋外移動	集団 週1回以上 1h以内	個別 週1回以上 1h以内	個別 月1回以上 1h以内
	15) 車いす操作	個別 週1回以上 1~3h他	個別 週1回以上 1h以内他	
	17) 更衣	集団 週1回以上 1h以内他	個別 毎日 1h以内	
	18) 排泄	個別 月1回以上 1h以内	個別 週1回以上 1h以内	個別 週1回以上 1h以内
	19) 入浴	個別 週1回以上 1h以内	個別 週1回以上 1h以内	個別 週1回以上 1h以内 他
	20) みだしなみ・整容			個別 週1回以上 1h以内
IADL 訓練	25) 買い物	個別 年1回以上 1h以内		個別 月1回以上 1h以内
	26) 調理		個別 月1回以上 1h以内他	
	27) 洗濯	個別 週1回以上 1h以内他		個別 週1回以上 1h以内
	28) 掃除	個別 週1回以上 1h以内		
	29) その他家事			個別 週1回以上 1h以内
	30) 服薬管理		個別 毎日 1h以内	
	32) 公共交通機関の 利用	個別 月1回以上 1~3h他	個別 年1回以上 1~3h	
	33) 自動車利用・運 転		個別 月1回以上 1h以内	

プログラム等の分類	肢体不自由 (脳血管障害等)	肢体不自由 (頸髄脊髄損傷等)	高次脳機能障害	
社会生活力訓練	35) 疾病・健康管理	個別 毎日 1h 以内	個別 週 1 回以上 1h 以内他	個別 毎日 1h 以上他
	36) 食生活・栄養管理	集団 年 1 回以上 1h 以内		個別 月 1 回以上 1h 以内他
	37) セルフケア	集団 年 1 回以上 1h 以内	集団 週 1 回以上 1h 以内	集団 年 1 回以上 1h 以内
	38) 生活リズム	集団 年 1 回以上 1h 以内		集団 年 1 回以上 1h 以内
	39) 安全・危機管理			集団 年 1 回以上 1h 以内
	41) すまい	個別 年 1 回以上 1h 以内	訪問 年 1 回以上 1h 以内他	
	42) 掃除・整理	集団 年 1 回以上 1h 以内		個別 週 1 回以上 1h 以内
	43) 買い物	個別 年 1 回以上 1h 以内	個別 年 1 回以上 1h 以内	
	44) 服装	集団 年 1 回以上 1h 以内		
	45) 自己理解	集団 年 1 回以上 1h 以内	集団 年 1 回以上 1h 以内	個別 週 1 回以上 1h 以内他
	46) 障害の理解	集団 年 1 回以上 1h 以内	集団 年 1 回以上 1h 以内	個別 週 1 回以上 1h 以内他
	47) 人間関係			個別 週 1 回以上 1h 以内
	48) コミュニケーション			個別 週 1 回以上 1h 以内
	49) 教育と学習	集団 年 1 回以上 1h 以内		
	50) 就労生活	集団 年 1 回以上 1h 以内		集団 年 1 回以上 1h 以内
	51) 恋愛・結婚・子育て			個別 年 1 回以上 1h 以内
	52) 外出・余暇活動			個別 週 1 回以上 1~3h 他
	53) 地域生活・参加			個別 週 1 回以上 1~3h 他
	54) 社会保障制度活用支援	集団 年 1 回以上 1h 以内		集団 年 1 回以上 1h 以内
55) 障害福祉制度・サービス	集団 年 1 回以上 1h 以内	集団 週 1 回以上 1h 以内他	集団 年 1 回以上 1h 以内	
57) 支援の活用		集団 週 1 回以上 1h 以内		
一般就労に向けた職業	60) 職業前訓練	個別 年 1 回以上 3h 以上	個別 年 1 回以上 1~3h	個別 年 1 回以上 3h 以上他
	61) 職業訓練・復職訓練	個別 月 1 回以上 1~3h 他	個別 年 1 回以上 1~3h	
	62) 就職活動支援	個別 年 1 回以上 1h 以内		
その他の訓練	66) スポーツ活動	集団 週 1 回以上 1h 以内	集団 週 1 回以上 1h 以内	集団 週 1 回以上 1h 以内
	67) PC などの ICT 訓練	集団 週 1 回以上 1h 以内	個別 月 1 回 1~3h 他	集団 週 1 回以上 1h 以内
	69) ソーシャルスキルトレーニング		集団 週 1 回以上 1h 以内	集団 週 1 回以上 1h 以内
	73) 模擬生活訓練	個別 年 1 回以上 3h 以上	個別 年 1 回以上 3h 以上	

プログラム等の分類		肢体不自由(脳血管障害等)	肢体不自由(頸髄脊髄損傷等)	高次脳機能障害
地域移行、社会参加に向けた支援	76) サービス担当者会議・関係機関との調整	個別 年 1 回以上 1～3h 他	個別 月 1 回以上 1h 以内他	個別 年 1 回以上 1～3h
	77) 住環境面の改善	個別 年 1 回以上 1h 以内	個別 月 1 回以上 1～3h	
	78) 医療機関・事業所探し・選定支援		個別 月 1 回以上 1h 以内他	
	79) 事業所見学・同行	個別 年 1 回以上 1～3h		個別 年 1 回以上 1～3h
	80) 事業所利用体験実習支援	個別 月 1 回以上 1h 以内他		個別 年 1 回以上 1～3h 他
	81) 求職活動支援	個別 年 1 回以上 1h 以内		
	82) 職場見学同行		個別 年 1 回以上 3h 以上	
	84) 職場との調整	個別 年 1 回以上 1～3h 他		
	85) 就労中の職場との調整・生活支援	個別 年 1 回以上 1h 以内		
	87) 住まい探し	個別 月 1 回以上 3h 以上他	個別 年 1 回以上 3h 以上	
	88) 契約行為等の手続き	個別 月 1 回以上 1h 以内	個別 年 1 回以上 1h 以内	
	90) 職場・地域等周囲の理解促進	個別 年 1 回以上 1～3h 他		
	92) 各種制度の活用	個別 年 1 回以上 1h 以内		
家族支援	94) 障害理解促進		個別 年 1 回以上 1h 以内	
	95) 相談対応	個別 月 1 回以上 1h 以内他	個別 年 1 回以上 1h 以内	
交流 地域	99) 利用者が(と共に)行う地域交流活動	個別 年 1 回以上 1h 以内		

プログラム等の分類		視覚障害	知的障害	精神障害	発達障害
ADL 訓練	10)起居訓練			個別 週 1 回以上 1h 以内	個別 週 1 回以上 1h 以内
	13)屋内移動	個別 週 1 回以上 1h 以内			
	14)屋外移動	個別 週 1 回以上 1~3h			
	19)入浴		個別 毎日 1h 以内	個別 週 1 回以上 1h 以内	
	20)みだしなみ・整容		個別 毎日 1h 以内他	個別 週 1 回以上 1h 以内	個別 月 1 回以上 1~3h 他
	21)白杖操作	個別 週 1 回以上 1h 以内			
	22)点字	個別 週 1 回以上 1~3h 他			
IADL 訓練	24)電話の使用	個別 年 1 回以上 1h 以内	個別 週 1 回以上 1h 以内他	個別 週 1 回以上 1h 以内他	個別 年 1 回以上 3h 以上
	25)買い物		個別 月 1 回以上 1~3h 他	個別 週 1 回以上 1~3h 他	個別 月 1 回以上 3h 以上
	26)調理	個別 週 1 回以上 1~3h 他	個別 月 1 回以上 1~3h 他	個別 月 1 回以上 1h 以内	
	27)洗濯		個別 毎日 1h 以内	個別 週 1 回以上 1h 以内	
	28)掃除		個別 週 1 回以上 1h 以内		
	29)その他家事		個別 毎日 1h 以内	集団 週 1 回以上 1h 以内	
	30)服薬管理		個別 毎日 1h 以内	個別 週 1 回以上 1h 以内他	
	31)金銭・財産取扱い		個別 週 1 回以上 1h 以内他	個別 週 1 回以上 1h 以内他	個別 月 1 回以上 3h 以上
	32)公共交通機関の利用	個別 週 1 回以上 1~3h	個別 月 1 回以上 1~3h	個別 月 1 回以上 1~3h	集団 年 1 回以上 3h 以上
社会生活力訓練	35)疾病・健康管理	個別 週 1 回以上 1h 以内他	集団 年 1 回以上 1h 以内	個別 毎日 1h 以内他	
	36)食生活・栄養管理	個別 年 1 回以上 1h 以内他	個別 毎日 1h 以内他	集団 月 1 回以上 1~3h	
	37)セルフケア		個別 週 1 回以上 1h 以内	個別 週 1 回以上 1h 以内	個別 月 1 回以上 1~3h
	38)生活リズム		個別 毎日 1h 以内他	個別 毎日 1h 以内他	個別 週 1 回以上 1h 以内 他

プログラム等の分類		視覚障害	知的障害	精神障害	発達障害
社会生活力訓練	38)生活リズム		個別 毎日 1h以内他	個別 毎日 1h以内他	個別 週 1 回以上 1h 以内 他
	39)安全・危機管理	集団 月 1 回以上 1h 以内他		集団 年 1 回以上 1~3h	
	40)金銭・財産管理		個別 月 1 回以上 1h 以内	個別 週 1 回以上 1h 以内	個別 月 1 回以上 3h 以上
	41)すまい			個別 月 1 回以上 1h 以内他	
	42)掃除・整理		個別 週 1 回以上 1h 以内他		
	43)買い物		個別 月 1 回以上 1~3h 他	集団 年 1 回以上 1~3h	
	44)服装		個別 月 1 回以上 1h 以内他	個別 月 1 回以上 1~3h 他	個別 月 1 回以上 1~3h
	45)自己理解		個別 月 1 回以上 1h 以内他	集団 月 1 回以上 1~3h	個別 毎日 1h 以内他
	46)障害の理解			集団 月 1 回以上 1~3h	個別 月 1 回以上 3h 以上
	47)人間関係		個別 月 1 回以上 1h 以内	個別 週 1 回以上 1h 以内他	個別 月 1 回以上 1~3h
	48)コミュニケーション		個別 月 1 回以上 1h 以内他	集団 月 1 回以上 1~3h	集団 毎日 1h 以内
	49)教育と学習			集団 月 1 回以上 1~3h	集団 週 1 回以上 1~3h 他
	50)就労生活	個別 月 1 回以上 3h 以上	個別 月 1 回以上 1~3h 他	訪問 年 1 回以上 1~3h	
	51)恋愛・結婚・子育て			個別 月 1 回以上 1~3h	
	52)外出・余暇活動	集団 年 1 回以上 1h 以内	個別 週 1 回以上 1h 以内他	集団 月 1 回以上 1~3h	集団 月 1 回以上 1~3h 他
53)地域生活・参加	集団 年 1 回以上 1h 以内		個別 月 1 回以上 1~3h	集団 週 1 回以上 1~3h	

プログラム等の分類		視覚障害	知的障害	精神障害	発達障害
社会生活力訓練	54) 社会保障制度活用支援		個別 月 1 回以上 1h 以内他	集団 年 1 回以上 1~3h	
	55) 障害福祉制度・サービス	個別 月 1 回以上 1h 以内他	個別 月 1 回以上 1h 以内他	個別 年 1 回以上 1~3h 他	
	56) 介護保険制度・サービス	個別 月 1 回以上 1h 以内			
	57) 支援の活用	個別 年 1 回以上 1h 以内		集団 月 1 回以上 1~3h	
	58) 権利の行使と養護	個別 年 1 回以上 1h 以内		集団 年 1 回以上 1~3h	
一般就労に向けた職業訓練	60) 職業前訓練		個別 年 1 回以上 1~3h	個別 年 1 回以上 3h 以上	個別 週 1 回以上 1~3h 他
	61) 職業訓練・復職訓練			個別 年 1 回以上 3h 以上他	
	63) 職場実習支援			個別 年 1 回以上 3h 以上他	個別 月 1 回以上 3h 以上他
その他の訓練	66) スポーツ活動	個別 年 1 回以上 1h 以内他	集団 週 1 回以上 1~3h		
	67) PC などの ICT 訓練	個別 毎日 1h 以内他	個別 月 1 回以上 1h 以内		
	68) 一般教養・強化学習	集団 月 1 回以上 1h 以内	個別 月 1 回以上 1h 以内他		
	69) ソーシャルスキルトレーニング		個別 月 1 回以上 1h 以内他	集団 週 1 回以上 1~3h	集団 月 1 回以上 1~3h 他
	70) 音楽療法	集団 年 1 回以上 1h 以内	集団 月 1 回以上 1~3h		
	71) 園芸療法		集団 週 1 回以上 1~3h		
	72) アニマルセラピー		集団 年 1 回以上 1h 以内		
	73) 模擬生活訓練		個別 年 1 回以上 3h 以上		
	74) 家庭学習			集団 月 1 回以上 1~3h	
家族支援	94) 障害理解促進			個別 年 1 回以上 1~3h	
	95) 相談対応			集団 年 1 回以上 1~3h 他	個別 年 1 回以上 3h 以上

プログラム等の分類	視覚障害	知的障害	精神障害	発達障害	
地域移行、社会参加に向けた支援	76) サービス担当者会議・関係機関との調整		個別 年1回以上 3h 以上他	個別 月1回以上 1~3h 他	個別 年1回以上 3h 以上
	77) 住環境面の改善		個別 年1回以上 3h 以上		
	78) 医療機関・事業所探し・選定支援	個別 月1回以上 1h 以内	個別 年1回以上 3h 以上	個別 年1回以上 3h 以上他	
	79) 事業所見学・同行	個別 年1回以上 1~3h	個別 年1回以上 1~3h	個別 年1回以上 1~3h 他	
	80) 事業所利用体験実習支援	個別 年1回以上 1~3h	個別 月1回以上 3h 以上	個別 年1回以上 1~3h 他	
	81) 求職活動支援		個別 年1回以上 3h 以上		
	82) 職場見学同行	個別 年1回以上 1~3h	個別 年1回以上 3h 以上	個別 年1回以上 3h 以上	個別 年1回以上 3h 以上
	83) 職場体験実習同行		個別 月1回以上 1~3h	個別 年1回以上 3h 以上	個別 年1回以上 3h 以上
	84) 職場との調整	個別 月1回以上 1~3h	個別 月1回以上 1h 以内		
	85) 就労中の職場との調整・生活支援	個別 月1回以上 1h 以内	個別 月1回以上 1h 以内		
	86) その他の同行支援		個別 月1回以上 1~3h 他		
	88) 契約行為等の手続き		個別 年1回以上 3h 以上	個別 年1回以上 3h 以上	個別 年1回以上 3h 以上
	89) 消費者トラブルなど危機回避			集団 年1回以上 1~3h	
	90) 職場・地域等周囲の理解促進	個別 月1回以上 1h 以内		集団 年1回以上 1~3h	
地域貢献活動	91) 地域生活の中でのレクリエーション・余暇活動支援		集団 月1回以上 1~3h	個別 月1回以上 1~3h 他	
	92) 各種制度の活用	個別 月1回以上 1h 以内	個別 月1回以上 1h 以内他	個別 年1回以上 3h 以上	個別 年1回以上 3h 以上
	97) 地域等に対するボランティア活動			集団 週1回以上 1~3h 他	
	98) 他の障害者等に対するピアサポート活動			集団 年1回以上 3h 以上	集団 年1回以上 3h 以上
	99) 利用者が(と共に)行う地域交流活動			集団 週1回以上 1~3h	集団 週1回以上 1~3h
	100) 利用者が(と共に)行う地域づくり活動			集団 週1回以上 1h 以内	

表4 障害別・プログラム等別の評価指標ありの回答数

※数字は評価指標ありと回答した件数

プログラム等の分類		肢体不自由(脳血管障害等)	肢体不自由(頸髄脊髄損傷等)	高次脳機能障害	視覚障害	知的障害	精神障害	発達障害
機能維持・向上訓練	1) 身体機能の維持・向上訓練	7	4	5	0	0	0	0
	3) 高次脳機能・認知訓練	5	0	5	0	0	0	0
	4) 言語訓練	1	0	1	0	0	0	0
	5) 摂食・嚥下訓練	1	0	0	0	0	0	0
	6) 感覚統合訓練	0	0	2	0	0	0	0
	7) 記憶・情緒の安定	1	0	3	0	0	0	0
	8) 代替手段の活用	0	0	2	0	0	0	0
ADL訓練	10) 起居訓練	1	1	0	0	0	0	0
	11) 転倒訓練	1	0	0	0	0	0	0
	12) 移乗	1	1	0	0	0	0	0
	13) 屋内移動	3	2	0	2	0	0	0
	14) 屋外移動	4	2	2	2	0	0	0
	15) 車いす操作	1	3	0	0	0	0	0
	16) 食事	2	1	0	0	0	0	0
	17) 更衣	2	1	0	0	0	0	0
	18) 排泄	1	1	0	0	0	0	0
	19) 入浴	4	3	0	0	0	0	0
	20) みだしなみ・整容	2	1	0	0	0	0	0
	21) 白杖操作	0	0	0	3	0	0	0
22) 点字	0	0	0	2	0	0	0	
IADL訓練	24) 電話の使用	0	0	0	1	0	0	0
	25) 買い物	2	0	0	0	0	0	0
	26) 調理	1	1	0	3	0	0	0
	28) 掃除	1	0	1	0	0	0	0
	30) 服薬管理	0	0	1	0	0	0	0
	31) 金銭・財産取扱い	0	0	0	1	0	0	0
	32) 公共交通機関の利用	2	1	3	3	0	0	0
33) 自動車利用・運転	2	2	1	0	0	0	0	

プログラム等の分類		肢体不自由(脳血管障害等)	肢体不自由(頸髄脊髄損傷等)	高次脳機能障害	視覚障害	知的障害	精神障害	発達障害
社会生活力訓練	35) 疾病・健康管理	1	0	2	0	0	0	0
	37) セルフケア	0	0	1	0	0	1	0
	38) 生活リズム	0	0	0	0	0	1	1
	41) すまい	0	1	0	0	0	0	0
	42) 掃除・整理	0	0	1	0	0	0	0
	45) 自己理解	0	0	2	0	0	0	1
	46) 障害の理解	0	0	2	0	0	0	0
	47) 人間関係	0	0	1	0	0	0	1
	48) コミュニケーション	0	0	1	0	0	0	1
	49) 教育と学習	0	0	1	0	0	0	1
	50) 就労生活	0	0	1	0	0	0	0
	52) 外出・余暇活動	0	0	2	0	0	0	1
	53) 地域生活・参加	0	0	1	0	0	0	1
	55) 障害福祉制度・サービス	0	0	1	0	0	0	0
57) 支援の活用	0	0	1	0	0	0	0	
けた一般就労に向けた職業訓練	60) 職業前訓練	1	1	0	0	0	1	0
	61) 職業訓練・復職訓練	0	0	0	0	0	1	0
	63) 職場実習支援	0	0	0	0	0	1	0
その他の訓練	66) スポーツ活動	1	1	1	2	0	0	0
	67) PCなどのICT訓練	0	0	0	3	0	0	0
	68) 一般教養・強化学習	0	0	1	0	0	0	0
	69) ソーシャルスキルトレーニング	0	0	1	0	0	0	0
	70) 音楽療法	0	0	1	0	0	0	0

プログラム等の分類		肢体不自由(脳血管障害等)	肢体不自由(頸髄脊髄損傷等)	高次脳機能障害	視覚障害	知的障害	精神障害	発達障害
地域移行、社会参加に向けた支援	76) サービス担当者会議・関係機関との調整	2	1	1	0	0	0	0
	77) 住環境面の改善	0	1	0	0	0	0	0
	78) 医療機関・事業所探し・選定支援	0	0	1	0	0	0	0
	79) 事業所見学・同行	0	0	1	0	0	0	0
	80) 事業所利用体験実習支援	1	0	0	0	0	0	0
	83) 職場体験実習同行	0	0	1	0	0	0	0
	86) その他の同行支援	0	0	1	0	0	0	0
	90) 職場・地域等周囲の理解促進	0	0	1	0	0	0	0
	91) 地域生活の中でのレクリエーション・余暇活動支援	0	0	1	0	0	0	0
家族支援	94) 障害理解促進	0	0	2	0	0	0	0
	95) 相談対応	0	0	1	0	0	0	0
地域貢献活動	97) 地域等に対するボランティア活動	0	0	1	0	0	0	0
	98) 他の障害者等に対するピアサポート活動	0	0	1	0	0	0	0
	99) 利用者が(と共に)行う地域交流活動	0	0	1	0	0	0	0
	100) 利用者が(と共に)行う地域づくり活動	0	0	1	0	0	0	0

参考文献

吉永勝訓ほか(2019) 自立訓練(機能訓練、生活訓練)の実態把握に関する調査研究, 厚生労働省
平成30年度障害者総合福祉推進事業